

関西大学客員教授講演会

最近の地盤災害を地盤リスクの観点から考えましょう

H26年およびH30年広島土砂災害、博多駅前地下鉄工事陥没事故、H29年台風20号和歌山斜面崩壊北海道胆振地震による地盤災害、最近の豪雨による堤防破堤などの事例を基に地盤リスクを考える

大西 有三 氏
(京都大学名誉教授)



プロフィール

京都大学工学部土木工学科卒業
カリフォルニア大学
バークレー校工学研究科博士課程修了
以降、京都大学工学部で教鞭を執る。
2008（平成20）年10月
京都大学理事・副学長
2013（平成25）年
関西大学環境都市工学部特任教授
前ISRM副総裁として日本の岩盤工学の実力を世界に発信中。
福島第1原発汚染水処理対策委員会委員長、
国交省新都市社会技術融合創造研究会委員長、
ドローン測量教育研究機構代表理事等々を歴任

2018年

11月21日 **水** 13:00-14:30

関西大学千里山キャンパス 第4学舎2308教室



関西大学

【問い合わせ】

関西大学理工系事務チーム
TEL：06-6368-1121（代表）